

平成22年度 施政方針

「暮らし満足度一番のまち」の実現！

～町民の皆さまとの対話を大切に行政の透明性の確保をより推進します～

子育て支援

～次世代育成のまちづくり～

児童・生徒の個性や能力を発掘・発見し、さらには可能性を育み、将来に希望の持てる子どもたちの育成と教育を目指すとともに、子どもを安心して育てることができる環境を整備します。

主要施策

- 学童保育施設の新設
- 学童保育全施設を指定管理者に委託
- 民間保育園園舎の増改築
- 障がい児保育の充実のための指導員の増員
- 金杉小学校と松伏中学校技術棟の耐震診断
- 地域子育て支援センター運営事業の推進
- ファミリー・サポート・センター運営事業の推進

地域社会づくり

～自己実現と地域文化を育むまちづくり～

町民が活発で心地よい暮らしのできるまちづくり、コミュニティの振興による人と人がふれあう地域づくりを支援します。

主要施策

- 中央公民館（田園ホール・エローラ）の舞台照明設備の改修工事
- 県営まつぶし緑の丘公園の管理運営
- 人権擁護活動の支援と相談窓口の充実
- 男女共同参画の推進
- 文化・芸術、スポーツ団体等への継続的な支援と育成

福祉・健康・社会保障

～自立と支え合いのまちづくり～

「健康まつぶし21計画」に沿った健康づくり事業を継続するとともに、健康意識の啓発、体力づくりの推進、病気予防など健康管理体制の整備と予防医療を充実させ、病気になりにくい身体づくりを推進します。

主要施策

- 予防接種事業の充実と推進
- 女性特有のがん検診の充実と推進
- 老人福祉センターの改修工事
- 社団法人シルバー人材センターの事業拡大に対する支援

産業振興

～地産地消のまちづくり～

地域産業の育成のため、町の特産品開発や地産地消を推進するとともに、新たな観光資源の発掘など、農業、商工業の支援を図ります。

主要施策

- 赤岩農村センターと農村トレーニングセンターの施設改修工事
- 古利根川桜並木保存会に対する支援
- 農業生産法人の設立に向けた支援
- 農産物直売所を活用した地産地消の推進

生活基盤整備 ～安心・安全・美しいまちづくり～

町民生活に最も密着した生活基盤整備については、地域の特性に配慮しつつ、緊急性などを勘案したうえで計画的に実施します。

主要施策

- 上河原地区の公共下水道整備
- 町道6号線と河原深町線の道路用地の測量業務の実施
- 道路改良工事、側溝新設事業、排水路整備事業の充実
- 東埼玉道路と浦和野田線の早期整備に向けた要望活動の継続実施

生活環境の充実 ～環境共生と循環型のまちづくり～

防犯、交通安全、生活環境の美化向上、児童・生徒の安全の確保など、地域住民が安心して暮らせるまちづくりを推進します。

主要施策

- 地震や洪水に対する防災訓練の実施
- リサイクル意識高揚のための啓発活動の実施
- 町内総合パトロール事業の充実
- 既存建築物の耐震診断と耐震改修に対する支援

行財政運営の充実 ～行財政改革の推進～

歳出の抑制を図るため費用対効果を十分精査し、事業の廃止・縮小及び統合を積極的に検討するとともに、広域行政を推進します。

主要施策

- コンビニエンスストア収納を開始するための準備
- 町議会会議録検索システムの導入
- 「選択と集中」による、事業の廃止、縮小及び統合
- 広域合併を見据えた広域行政の推進

平成22年度 当初予算

| | | |
|-----------------|---------------|------------|
| 一般会計予算 | 75億7,900万円 | 前年度比 4.3%減 |
| 特別会計予算 | | |
| 国民健康保険特別会計 | 30億270万7千円 | 前年度比 6.5%増 |
| 老人保健特別会計 | 155万円 | 前年度比85.5%減 |
| 公共下水道事業特別会計 | 6億1,839万1千円 | 前年度比23.3%減 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 1,716万円 | 前年度比 6.0%減 |
| 介護保険特別会計 | 12億2,365万円 | 前年度比 7.2%増 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億5,610万9千円 | 前年度比 6.3%増 |
| (特別会計予算) | | |
| 小計 | 50億1,956万7千円 | 前年度比 1.6%増 |
| (一般会計予算+特別会計予算) | | |
| 合計 | 125億9,856万7千円 | 前年度比 2.1%減 |